



千葉県立楨の実特別支援学校
令和3年度 VOL.8
令和3年11月30日 発行

つながりを大切に…

早いもので令和3年もあと1か月となりました。朝の空気の冷たさに、冬の訪れを感じる今日この頃ですが、楨の実の子どもたちは、笑顔と元気いっぱい過ごしています。



緊急事態宣言が明け、感染状況が落ち着いているとはいえ、学校の教育活動はすぐに元どおりというわけではなく、活動する集団の人数を少しずつ増やしたり、学習内容や方法の見直しをしたりしています。給食後の歯磨きについては、引き続き中止しています。今後、歯磨きの仕方や感染予防対策について教職員で再度共通理解を図り、子どもたちに指導をしたうえで、再開していく予定です。もうしばらくの間、御家庭や施設での御協力をお願いいたします。また、子どもたち自身や御家族に発熱や咳等の風邪症状がみられた場合の対応についても、これまでと同様登校を控えていただき、自宅療養をお願いいたします。登校後の様子によって、お迎えをお願いする場合がありますので、御理解と御協力をお願いいたします。

11月は、健康管理と感染予防対策を十分に行いながら、校外での活動を多く行うことができ、つながりを感じられる出来事が多くありました。学校とは違う環境の中で、人のかかわりを大切にしながら、友達と一緒に計画どおりに行動したり、お小遣いの金額を考えておみやげを買ったり、他校の友達と交流をして親睦を深めたり、任された仕事に責任をもって取り組んだり、子どもたちは経験を通して大きく成長することができました。一つの行事を終えると、子どもたちは達成感と自信に満ちた表情で、キラキラと目を輝かせていたのが印象的でした。

また、子どもたちの作品や作業製品を長浦公民館や袖ヶ浦市役所に展示させていただき、多くの皆さんに見ていただけたことも、地域の皆様とのつながりを感じられる良い機会でした。御意見や御感想等お寄せいただいた皆様、ありがとうございました。

12月は、学校での学習の様子を保護者や施設の方に参観していただく機会を設けました。感染予防対策のため、参観人数や参観場所、時間帯等の制限をさせていただくことがあります。子どもたちの様子をゆっくりと御覧ください。

どうぞ今後とも本校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。

教頭 秦野 真紀

※システムの不具合のため、各学部のページは次号「まきのみだより VOL.9（12月発行）」に掲載いたします。御了承ください。